

スポーツで 地域を 盛り上げます！

復興五輪の
実現に向けて



人間発達文化学類 講師 修士（地域文化）

蓮 沼 哲 哉

HASUNUMA Tetsuya

研究室 URL <https://fukushima-sport-community.jimdo.com/>

〔専門分野〕 スポーツ社会学

【プロフィール】 福島県会津坂下町出身。福島大学大学院人間発達文化研究科修了。10年間、福島県高校保健体育教諭を経て現職。専門競技はトライアスロン。震災時、浪江町の高校に勤務し、震災後、被災地でのスポーツ関連事業に関わる。2020年東京五輪を「復興五輪」とするために被災地でのスポーツイベント開催やレガシー創出に向けて取り組む。

私は、大学に勤務するまで、高校の保健体育の教員をしていました。震災時は浪江町で教員をしており、地震のあったその日も外で練習をしていました。学校は避難を余儀なくされ、前年度インターハイに出場した選手も新潟に避難し練習ができない状況となりました。そしてその年、残念ながらインターハイには出場させることができず、その教え子の目標を達成させることができなかつたという悔しい思い出があります。

震災後、2013年9月に「復興五輪」という名目のもと夏季オリンピック・パラリンピックが東京で開催されることが決定しました。私は今、トライアスロン競技でこの東京オリンピックを目指す選手の指導をしています。今年は本学に、世

界ジュニア選手権を経験した学生が入学し、「福島大学から世界へ」ということで活動を活発化させています。また、昨年、オリンピックムーブメントを加速化するために学生団体「わだち」を設立し、東京オリンピック・パラリンピックに向け、「福島大学生だからできること」をイベントで実施しています。

東京オリンピック・パラリンピックまでの2年間、福島大学の学生の取り組みが、県内のスポーツ界を発展させて、復興の加速化と地域活性化に繋がり、2020年以降のレガシーとなるような取り組みを続けていきたいと思っています。



研究概要

震災後、2013年9月に「復興五輪」という名目のもと夏季オリンピック・パラリンピックが東京で開催されることが決定しました。私は今、トライアスロン競技でこの東京オリンピックを目指す選手の指導をしています。また、被災地である福島を元気にするために、学生たちとスポーツイベントの企画運営や地域スポーツクラブの支援をしています。東京オリンピック・パラリンピックまでの2年間、福島大学



の学生の取り組みが、県内のスポーツ界を発展させて、復興の加速化と地域活性化に繋がりが、2020年以降のレガシーとなるような取り組みを続けていきたいと思います。

こんなことができます!

スポーツの価値を伝え、スポーツで福島の復興を後押しすること。

想定するパートナー

学校、競技団体、総合型クラブ、体育協会、自治体

具体的な連携、事業化のイメージ

スポーツイベント企画提案・運営、スポーツボランティア

地域産業振興

これまでの取組事例

- ・福島県、東京オリパラ組織委員会と連携し、オリンピック開催に向けた「アイデアコンテスト」開催
- ・東京都、日本アスリート会議との連携による被災地支援事業「復興相双サッカーフェス」開催
- ・各種団体・イベントへのスポーツボランティア活動(小学生体操指導アシスタント、棚倉スポーツクラブ感謝祭、スポーツを通して楽しい仲間づくりと体力づくり、とみおかスポーツフェスタ2018、Jヴィレッジ再始動祈念式典)
- ・第2・3回ユースオリンピック競技大会トライアスロン競技日本代表監督

関連情報

- ・被災地復興のためにスポーツイベントがもたらす影響(2017)
- ・飯館地区仮設小学校に通う児童の体力低下とその改善を担う体育活動支援のあり方に関する研究(2016)
- ・公益社団法人日本トライアスロン連合「強化拠点」が担う地域スポーツクラブとしてのトライアスロンの普及・発展・強化に関する研究(2015)

私たちの研究室自慢!

私たちは地域のスポーツクラブや団体と協働して、スポーツ指導やイベントを企画しています！子どもから高齢者まで多世代との交流を通して、スポーツの魅力や運動の大切さを伝えています！



地域の歴史・ 文化遺産を未来に 伝えるために

行政政策学類 教授 博士(文学)

阿部 浩一

ABE Koichi

地域の文化財
保護の相談役



研究室 URL <https://www.facebook.com/fukudai.history.abe>

[専門分野] 日本中世史(戦国期の東国における地域社会の研究)

【プロフィール】東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得後退学。博士(文学)。専門は日本中世史、戦国時代の関東・東海・東北の地域社会を研究している。東日本大震災後はふくしま歴史資料保存ネットワーク代表として、学生・専門家・自治体関係者・地域住民等とともに、県内各地の歴史・文化遺産の保全と継承に取り組んでいる。

私の専門分野は日本史の中でも戦国時代で、北条氏・今川氏・伊達氏などの戦国大名と村・町の関係のあり方を、地域社会の中で捉えなおすことを研究テーマとしています。特に、中世社会を特色づける現象の一つである「徳政」をめぐる問題、商業流通で富を蓄積し、財力を背景に村や町の自治を支えた人々の動向、地域と地域を結ぶ交通の問題などに焦点をあてながら、戦国時代の地域社会の有様を多面的に描き出すことに努めてきました。

もう一つの研究テーマは、地域における歴史資料保全活動です。阪神・淡路大震災を機に、大規模災害時に一気に消滅する危険性のある地域の歴史・文化遺産を保全し、その研究成果を地域に還元し

ようとする活動が、歴史学研究者を中心とする「史料ネット」運動として全国に広がっていきました。福島県でも東日本大震災を機に本格化しています。学生たちとの実践活動を通じて、地域がどのような課題を抱えているのか、行政や地域住民の理解と協力を得ながら、どのような方法や仕組みづくりが可能であるのかを研究し、発信しています。

これからは地域総がかりでの文化財の保護と同時に、まちづくりや観光での活用という新たな課題も本格化してきます。バランスのとれた保護と活用のために何が必要か、地域とともに考え、活動していきたいと思います。



研究概要

専門である戦国時代の伊達氏や南奥羽地域に関する研究成果を、地元からの要望に応じて一般市民向けにご紹介する講演活動を行っています。また、地域の歴史・文化遺産の保全と継承を支援する有志の連携体である「ふくしま歴史資料保存ネットワーク」の代表として、東日本大震災後の歴史資料保全活動、文化財レスキューに学生たちとともに取り組んでいます。その成果を学会やマスコミ等を通じて県内外に発信するとともに、市民参加型の



シンポジウム・懇話会などを通じて活動の裾野を広げる試みを続けています。

こんなこと
できます!

地域に伝わる歴史・文化遺産の保全と活用を支援します

想定するパートナー

市町村の文化財行政関係者、郷土史研究会等

具体的な連携、事業化のイメージ

歴史・文化遺産の所在調査・保全活動の支援

これまでの取組事例

国見町では個人蔵の歴史資料所在調査を進め、その成果を活かしつつ、学生たちの手で地元の歴史・文化遺産を広く知ってもらう「地域まるごと博物館」活動を推進しました。富岡町や大熊町ではアーカイブ事業の検討委員会で活動しています。金山町では福島県立博物館とともに民具資料の記録整理を継続しています。

関連情報

『戦国期の徳政と地域社会』（吉川弘文館、2001年）

『ふくしま再生と歴史・文化遺産』（共編著、山川出版社、2013年）

私たちの研究室自慢!

ゼミでは学生が自由に疑問や意見を出せる雰囲気
を大事にしています。古文書整理や博物館実習を
通じて地域の方々と直接ふれあい、成果を発信す
ることで、歴史を護り後世に伝える活動の意義や
喜びを実感できます。(修士2年・渡邊 歩さん)



こんなことができます!

彫刻を通して魅力と個性のあるまちづくりを提案します



二本松商工会議所のまちづくり協議会与連携して、市内亀ヶ谷坂の車止めに彫像を展示するイベントを実施しています。また、米沢商工会議所の依頼に基づき、NHK大河ドラマ『天地人』の主人公であった上杉景勝・直江兼続主従の像を建立しています。

これらの経験を活かし、彫刻を通して魅力と個性のあるまちづくりについて、ゼミ生とともに諸外国の事例も参照しながら研究を進めています。

研究成果を実際のまちづくりに活かします。



夢

現状をふまえて身近な問題から解決できるようになると活き活きしてくる!

人間発達文化学類

新井 浩

ARAI Hiroshi

教授 教育学修士

専門分野

木彫制作、彫刻教材開発、環境造形研究

特許情報、著書、論文

『ベーシック造形技法』pp96-103、
『具象彫刻における寄木表現の今日的諸相と位置』大学美術教育学会誌第38号pp9-16ほか

想定するパートナー

地方自治体、商工会議所など

具体的な連携、事業化のイメージ

彫刻を通じた各種イベント、設置事業など

これまでの取組事例

福島大学地域社会連携事業二本松市願いのボラード支援事業、米沢商工会議所による上杉景勝・直江兼続主従の像設置事業、那須野が原国際彫刻シンポジウム参加、越後妻有アートのトリエンナーレ参加など

教育
学習支援
健康
福祉
防災
都市計画
地域
産業振興

食・農
経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア



こんなことができます!

福利厚生のための 音楽コンテンツの 提供ができます



夢

合唱王国福島を音楽面で
サポートし、子どもたちの
豊かな情操を育てたい

人間発達文化学類

今尾 滋

IMAO Shigeru

准教授 音楽博士

専門分野

オペラ・音楽

特許情報、著書、論文

アリアで聴くイタリアオペラ
(立風書房)

マリーア・ディ・ローアンにおける
バリトンの位置



2013年、日生劇場50周年記念公演「フィデリオ」で
フロレスタンを演じる筆者(中央)



オペラのソリストとして東京を中心に活躍。バリトンからテノールに転向するなどユニークな活動履歴を持ち、レパートリーも他に類例を見ないほど多岐にわたっています。また、日本声楽家協会の養成コースで長らく主任を務めるなど、この分野でも高いスキルを持っています。福島大学に着任後は該博な知識を基にオペラ史の講義を行うなど、この分野における啓蒙活動にも従事しています。市民のうたの制定委員、合唱祭の講評委員などもつとめています。

想定するパートナー

各自治体、福利厚生のコンテンツを必要とする企業など

具体的な連携、事業化のイメージ

最初歩のオペラ講座、合唱やヴォイストレーニングなど

これまでの取組事例

オペラべらべらコンサートへの参加(三井住友海上文化財団の助成による)をとおして、生でオペラやクラシックの音楽を聴く機会がなく、地元の会館等もコンテンツを求めているような場所に、廉価で分かりやすく親しみ易い短縮版オペラを上演し、福利厚生、情操教育、啓蒙教育に寄与しています。

教育
学習支援

健康
福祉
防災・
都市計画

地域
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア



こんなことができます!

被災地自治体の生活環境・生業の再建をお手伝いします



2017年7月天山祭り(川内村)、中央の方は遠藤村長



夢

人と人の絆によるふるさと
の再生

人間発達文化学類

小島 彰

KOJIMA Akira

教授 経済学修士

専門分野

経済理論、地域経済論、
経済教育論

特許情報、著書、論文

「郡山市の商業」『郡山市史』
2014.10.
「いわき市小名浜アクアマリンパークの地域振興」『東北地方「開発」の系譜』松本武祝編、明石書店、
2015.3



福島市商業まちづくり委員として数年間活動。伊達町商工政策審議会会長、福島県建設機重業協同組合の依頼で活路開拓ビジョンの作成など、商工業・建設業・街づくり関係の活動を進めてきました。ほかに、いわき市小名浜まちづくり市民会議の活動支援、大震災後の復興関係イベント支援や川内村のイベント支援や研究調査活動を継続し、避難指示解除の自治体の在り方、産業の動向など生活環境の再建や生業の再建について研究中です。また、福島県の観光客入込状況でインバウンドが1%未満という中で、磐梯熱海温泉観光協会(菅野豊会長)とともに街づくり推進協議会を立ち上げ調査研究を進めています。

想定するパートナー

被災自治体及び商工会、商工会議所、観光協会・温泉旅館組合など

具体的な連携、事業化のイメージ

被災地自治体の公共政策・商工業政策の計画立案、県内温泉観光地の街づくり、活性化政策

これまでの取組事例

いわき市小名浜アクアマリンパークの支援活動、川内村の復興再生支援活動など。磐梯熱海温泉については「アートを活かした温泉街づくり」をテーマに、観光協会とともに推進委員会を立ち上げ、ボランティア学生サポートを伴いつつ、現在進行形で展開しています。

教育
学習支援
健康
福祉
防災
都市計画
地域
産業振興
食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア



こんなことができます!

地域の産業振興のお手伝いをします



夢

現場の視点から地域を振興する

人間発達文化学類

初澤 敏生

HATSUZAWA Toshio

教授 博士（地理学）

専門分野

経済地理学（地域産業論・地場産業論）、
社会科教育学（地理教育・防災教育）

特許情報、著書、論文

地場産業のブランド化戦略とその課題

東日本大震災被災地のものづくり復興の課題



福島県・郡山市・福島市などの中小企業の振興に関する審議会に参加し、行政の産業政策の検討に協力しています。原町商工会議所・福島商工会議所・喜多方市などと連携し、企業の実態調査を踏まえて今後の方向性について提言しました。また、伊達市や国土交通省と連携し、地域振興のための道の駅建設に協力しました。まちづくり・むらづくりに関しては、福島商工会議所の福島駅周辺活性化計画、福島市の下水道計画、喜多方市の総合戦略、葛尾村・川内村の振興施設建設計画、玉川村の地方創生事業などに協力しています。

想定するパートナー

各地の商工会議所・商工会・産業団体など

具体的な連携、事業化のイメージ

実地調査等に基づく課題の把握と振興策の提言など

これまでの取組事例

- ・原町商工会議所ならびに福島商工会議所と連携して商工業実態調査を実施し、震災後の地域産業の改善の方向性を提言しました。（2011年～）
- ・玉川村の地方創生のために取り組みました。（2016年～）
- ・伊達市の道の駅建設に協力。（2011年～2018年）

教育
学習支援
健康福祉
防災
都市計画
地域産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア



こんなことができます!

地域における
住民主体の
まちづくりを
サポートします



「コミュニティとまちづくり」をテーマとして、住民によるまちづくりの可能性を、コミュニティ政策と地域住民組織・NPO等の動向との関連から探っていきたくと考えています。また、タイの住民組織についての比較研究も進めています。アンケート調査を含めた豊富な調査経験を活かし、まちづくりへの実践的なアドバイスをを行います。

社会的活動としては、中間支援組織である認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンターの理事長を務めています。



夢

地域のことは地域で決める—
そんな福島の実現

人間発達文化学類

牧 田 実

MAKITA Minoru

教授 学術修士

専門分野

地域社会学、コミュニティ政策学

特許情報、著書、論文

『地域自治の最前線』(2013)
『日本コミュニティ政策の検証』
(2014)

想定するパートナー

自治体、地域住民組織、NPO法人など

具体的なお提案

アンケート調査の設計・集計、共同研究・提言

これまでの取組事例

- ・福島市総合企画アドバイザー
- ・福島市行政改革推進委員会
- ・福島市放射能に関する市民意識調査
- ・上越市地域協議会検証会議
- ・郡山市市民協働のまちづくり推進協議会
- ・玉川村まち・ひと・しごと総合戦略有識者会議

教育
学習支援
健康
福祉
防災
都市計画
地域
産業振興

食・農
経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア



こんなことができます!

美術制作、鑑賞、
芸術企画に関わる
サポートをします



夢

ARTに満ちあふれた、
豊かな地域文化の生活を
めざしたい

人間発達文化学類

渡邊 晃一

WATANABE Koichi

教授 芸術学修士

研究室 URL

<http://www.wa-art.com>

専門分野

絵画、現代美術
(制作学、美術解剖学)

特許情報、著書、論文

主な著書に『絵画の教科書』、
『渡邊晃一作品集 テキストとイマ
ージュの肌膚』



美術制作、美術解剖学をテーマに
研究。国内外の企画展に参加。文
部科学省在外派遣研究員。ペンシ
ルバニア州立大学客員研究員。郡
山市文化芸術振興基本計画策定委員、福島県
「八重の桜」キャラクター審議委員、経済産業省
地域資源活用型研究開発事業、全国生涯学習
フェスティバルなどのアドバイザーを歴任。芸術企
画による国際交流として、CCGA(大日本印刷株
式会社)ゼミナール、「福島ビエンナーレ」「風と
土の芸術祭」「豊穰の芸術祭」などを企画監修。
舞台美術の制作(新国立劇場)や映画制作の協
力。震災後の復興支援活動が小学校「図画工作」
教科書に掲載。第30回教育美術賞(佐武賞)。

想定するパートナー

芸術文化施設、企業、教育諸機関、保育園、生涯学習課、
商工会議所、観光協会・温泉組合、被災自治体など

具体的な連携、事業化のイメージ

芸術文化の振興(絵画、現代美術、映像メディア等)。地域
資源を通じた芸術企画。地域産業と連携した研究開発の支援。

これまでの取組事例

- ・企画監修:「福島ビエンナーレ」、「風と土の芸術祭」
- ・震災復興支援:「鯉アートのぼり」(福島市街地、福島空
港ほか)、「黒塚発信プロジェクト」(福島県立博物館)
- ・講座:油彩、水彩教室、人体素描
- ・映像協力:『万能鑑定士Q』(2014)、『図書館戦争』
(2015)、日本テレビ『ルーヴル美術館特別番組』(2015)

教育
学習支援
健康
福祉
防災
都市計画
地域
産業振興
食・農
経営支援
ファイナンス
人材育成
法律
ライフ
サイエンス
情報通信
環境
ナノテク
材料
エネルギー
ものづくり
技術
社会基盤
フロンティア



こんなことができます!

出版・書籍文化に 関連する営業記録・ 資料を整理します



「明治期書店文書」高美書店 書影



夢

資料の整理・保存を通して、
地域の手助けの力に

行政政策学類

新藤 雄介

SHINDO Yusuke

准教授 修士(社会情報学)

研究室 URL

<http://kojingyoseki.adb.fukushima-u.ac.jp/top/>

専門分野

メディア史 社会学
(出版メディアの変容と受容)

特許情報、著書、論文

「明治民権期における声と活字—集
会条例による政談演説 / 学術演説
の区分を巡る政治性」、『マス・コミュ
ニケーション研究』(88号、2016
年) など



近代日本のメディアに関する歴史
的な研究を専門としています。そ
の中でも特に、出版文化・書籍
文化を中心に扱っています。

現在、長野県の明治期の書店の営業資料の
調査・整理なども行っていることから、福島県
でも書店・出版社・印刷会社などの資料調査
などに取り組んで行きたいと考えております。

想定するパートナー

書店・出版社・新聞販売店・印刷会社

具体的な連携、事業化のイメージ

資料の調査と整理を通じた、文化財としての登録

これまでの取組事例

長野県松本市にある高美書店の営業資料の調査と
整理を通して、資料の復刻出版に取り組んでいます
(金沢文圃閣より刊行中)。

教育
学習支援
健康
福祉
防災
都市計画
地域
産業振興

食・農
経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア



こんなことができます!

地域の古文書を
後世に伝える
お手伝いをします



夢

地域の記憶を次世代に継承
したい

行政政策学類

徳 竹 剛

TOKUTAKE Tsuyoshi

准教授 博士(文学)

専門分野

日本近代史・地域史
(近代における地域振興の歴史)

特許情報、著書、論文

富岡の地域資料保全活動が語るもの(2017年)、岩越線の起点獲得運動一町場から地方都市へ(2012年)



歴史というと、教科書に載っているような有名な事件、大名や政治家の活躍を思い浮かべるかもしれませんが。確かにそれらは社会に

大きな影響を及ぼしましたが、社会の構成員は私たちであり、私たちの祖先であって、その多くは名もなき人々と言っていいでしょう。

私たちの祖先はどうやって生きてきたのか、私たちが暮らす地域社会はどのように歩んできたのか。地域の人々の視点に立って歴史を見直してみたいと考えています。

想定するパートナー

自治体の文化財担当者や郷土史に興味のある方

具体的な連携、事業化のイメージ

地域の古文書の保全

これまでの取組事例

学生時代を過ごした宮城や生まれ故郷である長野で、古文書の保全に取り組んできました。福島大学着任後は、国見町や富岡町で、役場の方や市民の方と一緒に活動しています。

教育
学習支援
健康
福祉
防災
都市計画

地域
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア



こんなことができます!

産学官連携による行政課題
や技術課題の解決をお手伝
いします。気軽に相談して
ください。



地域創造支援センター (CERA)
は、『産学官連携』を通じて、本
学の知的資源を地域社会に還元
し、産業・地域振興に貢献する
活動を展開しています。

人工知能 (AI) やビッグデータ、IoT、再生可
能エネルギー、ヘルスケア、ロボット等の技術
用語が氾濫する現在にあっては、従来以上に、
産業界や行政を問わず『産学官連携』による
課題の解決が重要になってきています。

夢



再エネ、医療、ロボット等
の時代をリードする産業の
育成

地域創造支援センター

大越 正弘

OOKOSHI Masahiro

職名 教授 工学士

研究室 URL

<http://www.cera.fukushima-u.ac.jp/>

専門分野

地域連携、産学連携、医用工学、
医用システム、再生可能エネルギー
政策

特許情報、著書、論文

- ・「フクシマにおける医工連携プロジェ
クト」、産学連合学会誌、Vol.14、
No.1、92-99、2018年
- ・「福島県地元企業がアジアから
誘い込む」、日経グローバル、
No.303、2016年

想定するパートナー

県・市町村、産業界、個別企業、産業支援機関

具体的な連携、事業化のイメージ

連携協定、地域課題解決、共同・受託研究の仲介・
斡旋等

これまでの取組事例

- ・県内市町村と本学の連携協定の締結や行政課
題解決のための相談、各種審査会委員等を引
き受けています。
- ・県内外企業から共同・受託研究の申出があっ
た際に、技術相談や本学教員等との橋渡しを
行っています。
- ・東南アジアの医療機器産業市場の動向調査や
救急災害対応医療機器の開発支援等も行って
います。

教育
学習支援

健康
福祉

防災
都市計画

地域
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア

